

# 広めよう使し

## 富山で食品ロス削減大会

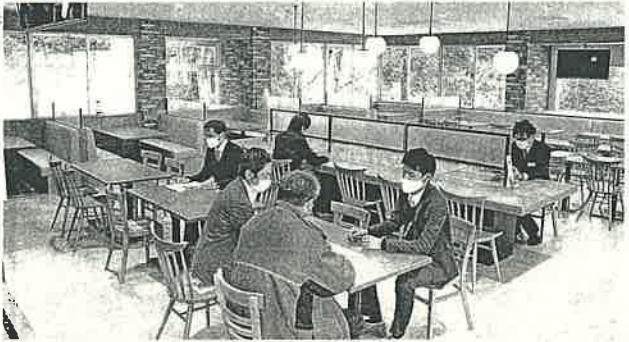


食品ロス問題に理解を深め、課題解決に向けて意見が交わされた全国大会

ヒノ社長 若日野子貞婦人  
会長、崎田裕子同協議会  
が参加し、牛久保明邦日本  
有機資源協会会長が進行し  
た。  
6人は食品業界の納入・  
販売ルールの緩和策、食品  
の使いきり・食べきりの定  
着を目指す「3015運動」  
などについて意見を交わ  
し、「企業単体では難しい  
課題なので、消費者を含め  
た業界全体で考えなければ  
いけない」とまとめた。  
開会式で新田八朗知事は  
「大会の成果が全国に発信  
され、国内の取り組みが進  
展することを願いたい」と  
あいさつした。

# 小矢部川 S A 商業施設あすリニューアル

## フードコートは100席



約100席を用意した  
フードコート

土産物売り場で販売する銘菓とせんべい

小矢部市の北陸自  
動車道より緑小矢部  
川サービスエリア(SA)  
の商業施設が18日午前7時  
にリニューアルオープンす  
る。16日に、管理する中日  
本高速道路(名古屋支社)の  
関係者が、富山の食の魅  
力を発信する土産物売り場  
や、広々としたフードコー  
トなどを見て回った。  
1階の土産物売り場では、  
月世界や甘金丹などの  
銘菓、シロエビのせんべい  
「卵」もある。  
この商業施設では、新型  
コロナの影響で小矢部市の  
業者が5月に撤退した。北  
陸自動車道より緑有機海  
産物の施設を運営するシェ  
ック経営コンサルタンツ  
(富山市)が新たに営業す  
る。  
18〜20日に2種類の福袋  
(2500円と5000円)  
を各日50個ずつ販売する。  
問い合わせは同SA、電話  
0766(50)9277。



フォークリフトで荷下ろしする。救護物資の搬入手順を確認した訓練

受援計画に基づき  
物資を搬入・出荷  
県が初訓練  
大規模災害を想定  
した県の救護物資の  
搬入・出荷訓練が16日、富  
山市友杉のテクノホールで  
行われた。災害時に国など  
からの物的支援を円滑に  
受け入れるため、県が策  
定した受援計画に基づ  
く初めての訓練。実際に物  
資拠点となる同ホールで、  
関係者がトラックからの荷  
下ろしや仕分けなどの手順  
を確認した。  
県と県トラック協会、県  
倉庫協会などから約30人が  
参加。呉羽山断層を震源と  
するマグニチュード7.2  
の地震が発生したという想  
定で行われた。

来年11月に50周年行事 県芸文協  
県芸術文化協会(木下晶  
会長)は16日、富山市のA  
NAクラウンプラザホテル  
富山で理事会を開き、協会  
の創立50年と第70回県芸術  
祭を記念した表彰式と祝賀  
会を来年11月に実施するこ  
となど、新年度の事業計画  
を決めた。  
協会は1972年に設  
立。県芸術祭は52年に始ま  
った。表彰式と祝賀会は来  
年11月3日に同ホテルで開  
催。10月31日には芸術祭の  
祝祭公演を県民会館で行  
う。

安全運転と時間  
富山で14日に初雪が観測され  
た。いよいよ冬本番だ。富山地方気  
象台によると、今年の初雪は2011  
年以降の10年間で最も遅かったとい  
う。車のタイヤ交換や除雪用具  
の準備などで慌てて専門店で足を  
運んだ人もいたようだ。  
早速、冬の布さに背筋が凍る思  
いをして、15日に上市町へ向かう  
途中、木格的な冬装束が並べられ、路  
面が凍り付いていることに気が付いた。  
冬の天気は局地的に変わりやす  
い。初雪の14日も県東部は朝から  
雪が降ったものの、県西部では雨  
だった。上市町から立山町、八尾  
町の各中心部を回った15日は、吹  
雪で視界が真っ白な場所がある  
だけのエリアもあった。雪道では交  
通事故のリスクが高まるため、状  
況に応じた注意が必要だ。

富山第一銀行は16  
日、受験生を応援す  
る「五角(合格)鉛筆」約  
千本を富山育英センターに  
贈った。  
上野賢介本店営業部長ら  
3人が富山市新校町の同セ  
ンター富山本部校を訪問。  
同市の於保多神社でおほら  
いを受けた五角鉛筆を片山  
浄見理事長に手渡した。片  
山理事長は「受験生にはこ  
の鉛筆を握りしめて勉強に  
励んでほしい」と話した。  
五角鉛筆の配布は、県内  
と金沢市  
に通う考  
生が対象  
市(西町)  
の振り込  
りにも記  
録された。

富山育英センター  
(片山浄見理事長)  
と富山育英予備校は16日、  
富山市磯部町の県護国神社  
で卒業式を行った。  
代表4人  
全員で毛  
合格者  
学3年生  
備校生の  
配る。

秀眞に山本穂さん(不起  
工2年)が選ばれた。  
県内の高校5校から6人  
が出場。機械部品を加工す  
る「旋盤」で鋼材を切削加  
工し、2時間半以内で二つ  
開する作業者を共有するた  
めの連携協定を結んだ。啓発  
活動などで協力を深め、情  
報交換を強化していく。  
結核が富山市牛島新町  
のタワニー11であり、立  
協定書に  
(右)川田理事長

富光駅前 電球3000個 従来の2倍  
南砺市の吉江地域  
づくり協議会(得能  
金市会長)は15日、地元  
のJR富光駅前噴水広場を3  
千個の電球で彩るイルミネ  
ーションを点灯させた。来  
年3月15日まで毎日、夜間  
に点灯する。  
住民や駅利用者の心を和  
ませるとともに、駅前を明  
るくして防犯につなげよう  
と決めた。

光華やか心も明るく  
イルミネーションが華やか  
に輝く広場

出のオマレションも確認  
した。  
県の受援計画は2019  
年3月に策定。県としての  
物資拠点はテクノホール  
と高岡テクノドームが指定  
されている。

富山第一銀行は16  
日、受験生を応援す  
る「五角(合格)鉛筆」約  
千本を富山育英センターに  
贈った。  
上野賢介本店営業部長ら  
3人が富山市新校町の同セ  
ンター富山本部校を訪問。  
同市の於保多神社でおほら  
いを受けた五角鉛筆を片山  
浄見理事長に手渡した。片  
山理事長は「受験生にはこ  
の鉛筆を握りしめて勉強に  
励んでほしい」と話した。  
五角鉛筆の配布は、県内  
と金沢市  
に通う考  
生が対象  
市(西町)  
の振り込  
りにも記  
録された。

富山育英センター  
(片山浄見理事長)  
と富山育英予備校は16日、  
富山市磯部町の県護国神社  
で卒業式を行った。  
代表4人  
全員で毛  
合格者  
学3年生  
備校生の  
配る。



# 「物資拠点」活用へ訓練

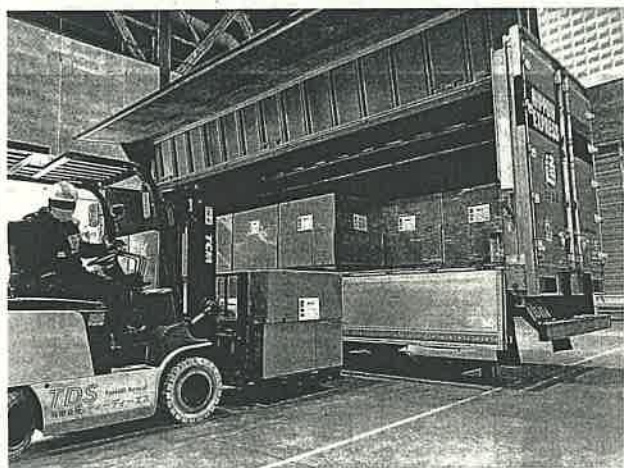
## 県が初実施

### 運営、輸送体制を確認

富山県は16日、富山産業展示館(富山市)で、災害時に支援物資を県内全域へ行き渡らせるため、支援物資が集まる「物資拠点」の活用訓練を初めて実施した。近年、国から迅速な支援があっても自治体側が対応しきれず、被災地に物資が届かないケースがあり、県も輸送体制の構築を課題としていた。県は訓練成果をマニュアルに反映させ、実効性を高める。

### トラック、倉庫協会参加

2011年の東日本大震災に、国は15年の熊本地震で被災者に十分な物資が、から、自治体の要請を待たずに行き渡らなかったことを教訓として、必要物資を緊急輸送するため訓練を実施した。



積み荷を降ろす手順を確認する参加者

—富山市の富山産業展示館

訓練は、県内各地の倉庫、トラック協会、県倉庫協会の30人が参加し、県職員や県トラック協会が降りしきる中、10トントラックで展示場内に物資を運び入れた後、積み荷を各

る「プッシュ型支援」を実施している。県防災・危機管理課によると、この支援をスムーズに受け入れる体制作りが全国的な課題となっており、県も19年に災害時受援計画を策定、今年には物資拠点運営・輸送マニュアルを作成した。

展示館と高岡テクノドーム(高岡市)の2カ所を物資拠点に定めており、県内最大の拠点となる富山産業展示館で物資の受け入れ作業が問題なくできるか検証するため訓練を実施した。

世界こども演劇祭を承認  
県芸術文化協会の理事会は16日、富山市のANAクラウンプラザホテルで開かれ、来年度の事業予算案を承認した。今年8月に予定されていたことや、世界こども演劇祭(富山新聞社など後援)は、新型コロナウイルスの影響で、来年5月に延期する予定が示された。来年1月の実行委員会開催の可否を検討する。

市町村へ届ける4トントラックへ積み替える手順を確認した。県は今後、訓練結果を検討し、今年度末までにマニュアルを見直す。奥田誠司課長は「マニュアル通りの手順でも、天候などの条件が違つてうまく進められない場面もあった。県内では最近大きな災害がないが、油断せず今後も各機関と連携した訓練を検討していく」と語った。



バタ足をする園児 —富山新聞文化センター高岡本部スタジオ



毎年設置されており、昨年は1670枚の願い札が寄せられた。絵馬は1月31日に展示。空港内には絵馬一富山空港



塾生の合格を祈願する職員 —富山市の県園神社

富山第一銀行は16日、富山新聞文化センター16日、県ボランティアセンターで開かれた。2学期最後の練習日として保護者が招かれ、年中・年長児14人が成果を披露した。

高岡第一学園附属第一幼稚園の水泳教室は16日、高岡市の富山新聞文化センター高岡本部スタジオで開かれた。2学期最後の練習日として保護者が招かれ、年中・年長児14人が成果を披露した。

専任トレーナーの吉久幸さんと室代子さんが講師を務めた。園児はプールサイドでバタ足をしながら水に慣れた後、ビート板を使った泳ぎや息継ぎ、クロールなどに取り組んだ。

**富山新聞文化センター ぎょうの講座(17日)**

富山新聞文化センター(富山市)で、富山新聞文化センターが主催する「ぎょうの講座」が17日(日)に開催される。内容は、富山新聞文化センターが主催する「ぎょうの講座」で、富山新聞文化センターが主催する「ぎょうの講座」が17日(日)に開催される。

富山新聞文化センター(富山市)で、富山新聞文化センターが主催する「ぎょうの講座」が17日(日)に開催される。内容は、富山新聞文化センターが主催する「ぎょうの講座」で、富山新聞文化センターが主催する「ぎょうの講座」が17日(日)に開催される。

富山新聞文化センター(富山市)で、富山新聞文化センターが主催する「ぎょうの講座」が17日(日)に開催される。内容は、富山新聞文化センターが主催する「ぎょうの講座」で、富山新聞文化センターが主催する「ぎょうの講座」が17日(日)に開催される。

**富山新聞文化センター ぎょうの講座(17日)**

富山新聞文化センター(富山市)で、富山新聞文化センターが主催する「ぎょうの講座」が17日(日)に開催される。内容は、富山新聞文化センターが主催する「ぎょうの講座」で、富山新聞文化センターが主催する「ぎょうの講座」が17日(日)に開催される。

富山新聞文化センター(富山市)で、富山新聞文化センターが主催する「ぎょうの講座」が17日(日)に開催される。内容は、富山新聞文化センターが主催する「ぎょうの講座」で、富山新聞文化センターが主催する「ぎょうの講座」が17日(日)に開催される。

**富山新聞文化センター ぎょうの講座(17日)**

富山新聞文化センター(富山市)で、富山新聞文化センターが主催する「ぎょうの講座」が17日(日)に開催される。内容は、富山新聞文化センターが主催する「ぎょうの講座」で、富山新聞文化センターが主催する「ぎょうの講座」が17日(日)に開催される。

富山新聞文化センター(富山市)で、富山新聞文化センターが主催する「ぎょうの講座」が17日(日)に開催される。内容は、富山新聞文化センターが主催する「ぎょうの講座」で、富山新聞文化センターが主催する「ぎょうの講座」が17日(日)に開催される。